



## 三重の「人づくり」に関する取組について

平成25年度 第2回  
三重県経営戦略会議  
平成25年7月16日

# 目次

|   |    |
|---|----|
| 1. はじめに   | 1  |
| 2. 今回の議題とする政策   | 3  |
| 3. 「人づくり」に関する事務事業の概要(政策別)                               |    |
| 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～<br>(政策Ⅰ)危機管理                 | 4  |
| 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～<br>(政策Ⅱ)教育の充実                  | 6  |
| (政策Ⅲ)地域との連携   | 10 |
| <sup>ひら</sup> 「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～<br>(政策Ⅳ)農林水産業 | 13 |
| (政策Ⅴ)強じん <sup>で</sup> で多様な産業                            | 19 |

# 1. はじめに

平成24年度から概ね10年先を見据えた県の戦略計画である「みえ県民カビジョン」では、基本理念の一つとして「県民力による『協創』の三重づくりへ」を掲げ、県民の一人ひとりが「自立し、行動する県民(アクティブ・シチズン)」となることなどにより、新しい三重を創ることを目指しています。

## 【論点】

資料では、新しい三重を担う「人づくり」に関する現行の取組を、PDCAサイクルのP(Plan)にあたる「みえ県民カビジョン」の内容に沿ってお示ししています。今回は、「みえ県民カビジョン」における16の政策分野のうち、特に「人づくり」の取組が重要となる「危機管理」、「教育の充実」、「地域との連携」、「農林水産業」、「強じんて多様な産業」の5つを対象としました。

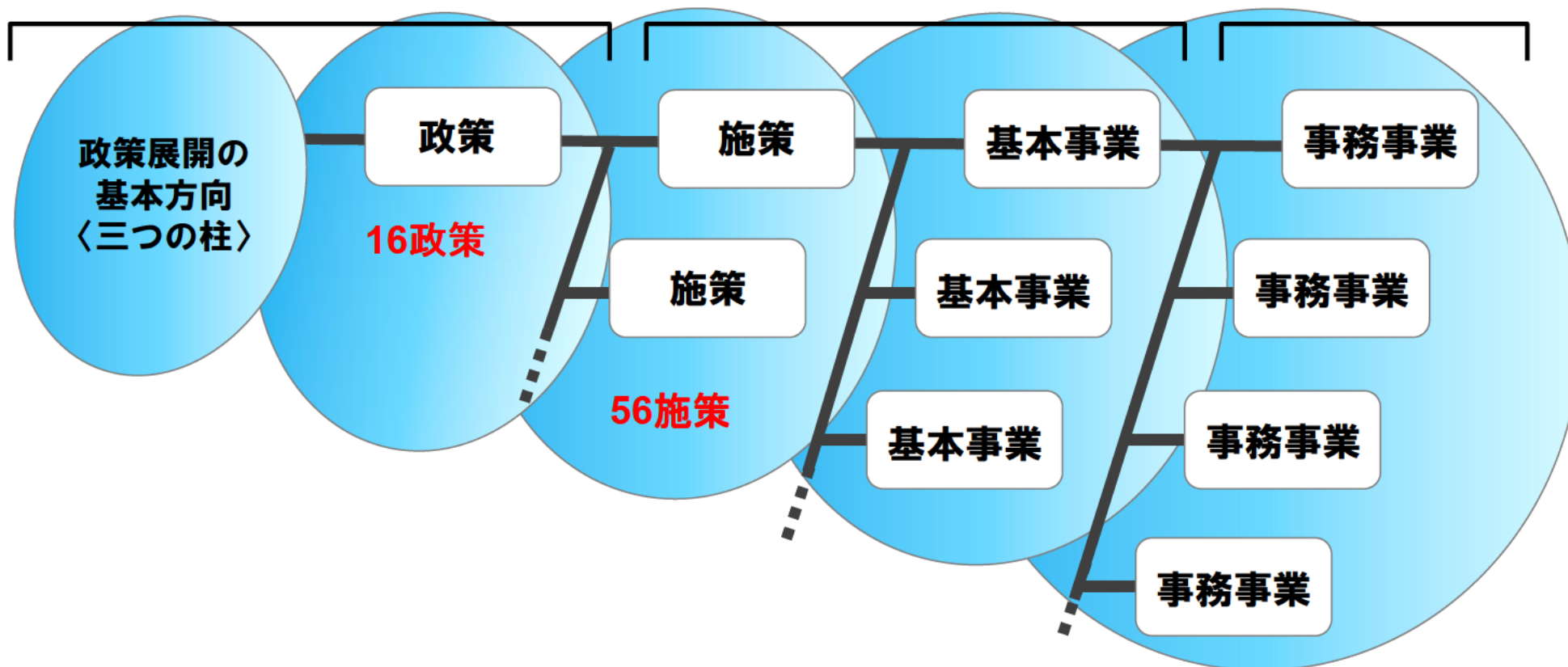
それら5つの政策分野に含まれる「人づくり」関連事業の概要をリストでお示したうえで、ターゲットの種別等による事業の分布イメージを図で表しています。リストの内容に合わせて、図を参考としていただき、「県の現行の取組に過不足は無いか」、「一層注力していくべき方向性はどのようなものか」といった視点から、来年度以降の取組について、大局的なご意見をいただきたいと考えます。

# (参考)「みえ県民カビジョン」の政策体系

おおむね10年間の体系  
(「みえ県民カビジョン」に記載)

4年間の体系  
(「みえ県民カビジョン・行動計画」に記載)

「みえ県民カビジョン・行動計画」の施策、基本事業の目標を達成するために、年度ごとに具体化する事業



「みえ県民カビジョン」の政策体系は、上の模式図のように構成されています。詳しい内容は、別紙「参考資料2-1-2-2」をご覧ください。

## 2. 今回の議題とする政策

「みえ県民カビジョン」では、“政策展開の基本方向”として《守る》《創る》《拓く》<sup>ひら</sup>の三つの柱を定め、その下に16の“政策”を位置づけています。  
今回の議題では、そのうち5つの政策について、「人づくり」に関する事務事業を取り上げます。

守る

(政策Ⅰ) 危機管理

4ページ

創る

(政策Ⅱ) 教育の充実

6ページ

(政策Ⅲ) 地域との連携

10ページ

拓く

(政策Ⅳ) 農林水産業

13ページ

(政策Ⅴ) 強じんて多様な産業

19ページ

### 3. 「人づくり」に関する事務事業の概要（政策別）

4

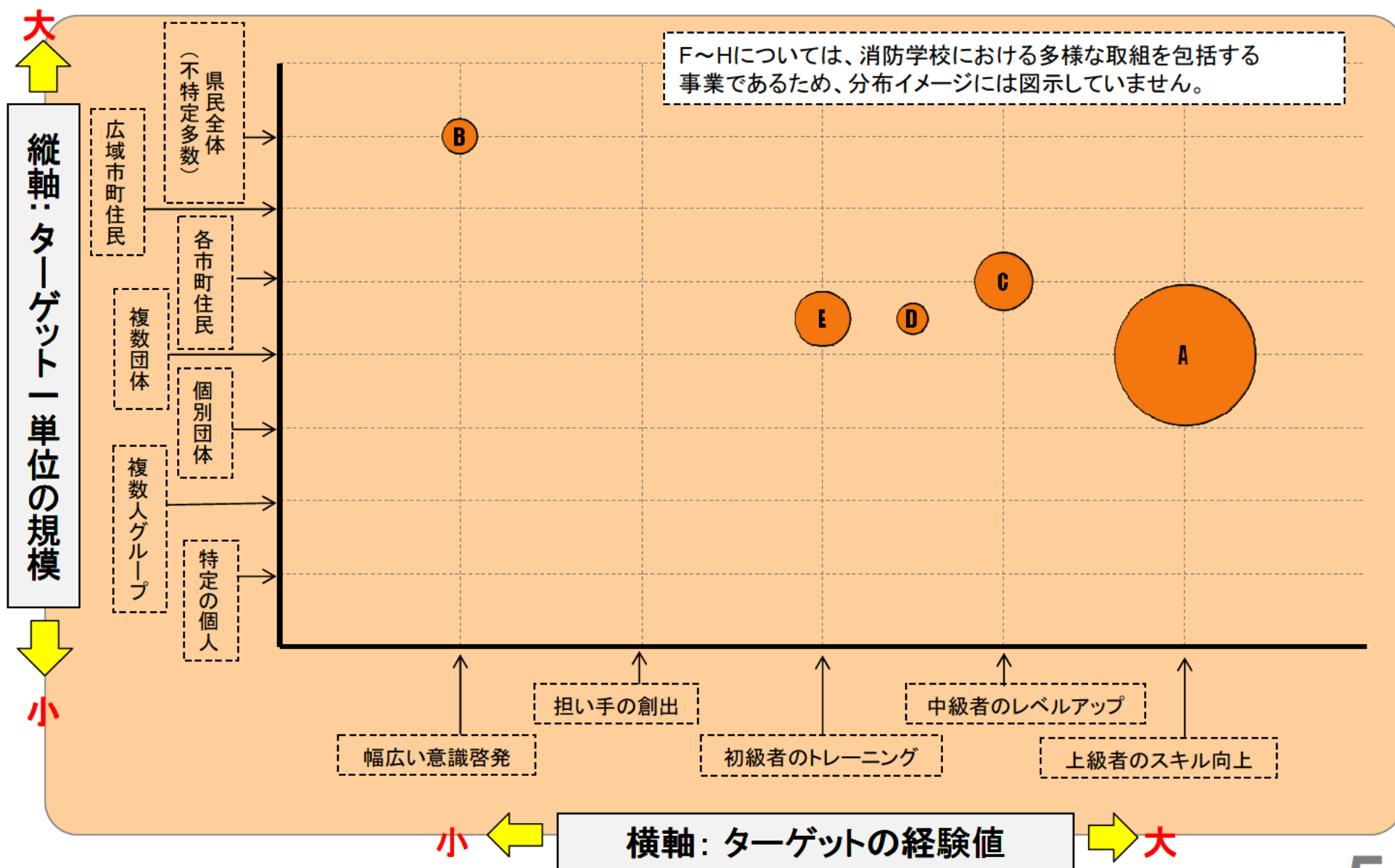
#### （政策Ⅰ）危機管理

※「総事業費」は、当該事務事業の事業費予算（H25年度当初予算）の総額です。  
したがって、「人づくり」に直接に関わる取組以外の費用も含む場合があります。

| 記号 | 事務事業名          | ターゲット<br>(誰を[に])   | 取組内容<br>(どうすることによって)   | 目的<br>(どうしたいか)                                    | 総事業費<br>(千円) |
|----|----------------|--------------------|--|---|--------------|
| A  | 災害医療体制強化推進事業費  | 医療従事者              | 災害時に対応する医療従事者の災害医療に関する専門知識を高めるための研修や訓練を行うことによって、   | 大規模災害発生時の医療体制の充実強化を図る。                            | 109,560      |
| B  | 地域防災広報事業費      | 全県民                | ・メディアを活用し、「防災の日常化」を意図した啓発を実施することによって、<br>・災害用備蓄物資を活用した啓発活動（白い小箱運動）と連携した取組を県内各地域・家庭で実施することによって、 | 防災意識の向上、定着を図る。                                    | 6,623        |
| C  | 市町防災力向上事業費     | 市町職員               | 市町が災害対応体制を強化するために実施する図上訓練や避難所運営訓練等に計画段階から助言するなどによって、   | 市町の防災力向上を支援する。                                    | 18,212       |
| D  | 自主防災組織活性化促進事業費 | 自主防災組織メンバー         | 地域別防災研修や自主防災組織交流会等を開催することによって、   | 地域防災にとって重要な役割を担う自主防災組織の活動を活性化する。                  | 5,203        |
| E  | 防災関連人材活動強化事業費  | 県民のうち、特に女性         | 特に女性を中心とした防災人材の育成に取り組むことによって、  | 男女共同参画の視点に配慮した防災・減災対策や、災害時要援護者を支援する体制整備を進める。      | 16,836       |
| F  | 学校派遣教官負担金      | 消防職員、消防団員、消防防災関係者等 | 消防学校の教官として、市消防本部等から消防に関する相当の学識経験を有する者の派遣を受けることによって、  | 消防学校の教育水準の向上を図る。                                  | 54,881       |
| G  | 学校運営管理費        | 消防職員、消防団員、消防防災関係者等 | 消防学校の設置運営を行うことによって、  | 消防職員、消防団員及び消防防災関係者等に教育訓練を行う。                      | 63,741       |
| H  | 消防職団員教育訓練費     | 消防職員、消防団員、消防防災関係者等 | 消防学校において教育訓練を行うことによって、   | 各種事故や災害時に消防防災関係者等が相互に連携しつつ、迅速かつ的確に防災活動が行える体制を整える。 | 11,366       |

(政策 I) 危機管理 事務事業の分布イメージ

円の大きさは、各事務事業の総事業費  
(H25年度当初予算)に対応しています。



| 記号 | 事務事業名             | ターゲット<br>(誰を[に]) | 取組内容<br>(どうすることによって)   | 目的<br>(どうしたいか)   | 総事業費<br>(千円) |
|----|-------------------|------------------|--|--|--------------|
| A  | 高等学校指導主事活動等事業費    | 県立高校生            | 指導方法や指導体制の工夫改善のための研究実践や教育課程改善に向けた取組を推進することによって、  | 学力の定着・向上及び自己実現を図る。   | 3,800        |
| B  | 高校生学力定着支援事業費      | 県立高校生            | 義務教育段階の学習内容の確実な定着に取り組むことによって、  | 基礎的・基本的な学力の定着向上を図る。  | 3,381        |
| C  | 「確かな学力」を育む総合支援事業費 | 県内公立小・中学校児童生徒    | 全国学力・学習状況調査の実施と、学力向上アドバイザーの派遣や実践的研究の取組推進による課題解決支援によって、   | 学力の定着と向上を図る。   | 23,243       |
| D① | 学力向上のための読書活動推進事業費 | 県内公立小・中学校児童生徒    | ①学校に図書館司書の有資格者を派遣することによって、   | ①図書館内で読書の授業支援を行う。  | 20,000       |
| D② | 学力向上のための読書活動推進事業費 | 県内公立小・中学校児童生徒    | ②ファミリー読書を推進することによって、   | ②家庭における読書習慣の定着を図る。   | 20,000       |
| E  | 「志」と「匠」の育成推進事業費   | 県立高校生            | ①理数分野で発展的な学習を行うことができるよう、大学等と連携した研修を行ったり、科学オリンピック大会を充実させることによって、<br>②高校生が国際的に活躍でき、また地域で主体となって外国人とのコミュニケーションを図ることができる語学力を身につけられるよう、指導方法の研究や英語を使う機会の提供、教員の育成などを行うことによって、<br>③企業や上級学校と連携した資格取得のためのプログラムの開発などを行うことによって、 | ①「未来を拓く科学者」を育成する。<br>②「英語で世界にはばたく三重県人」を育成する。<br>③「若き『匠』」を育成する。 | 19,863       |



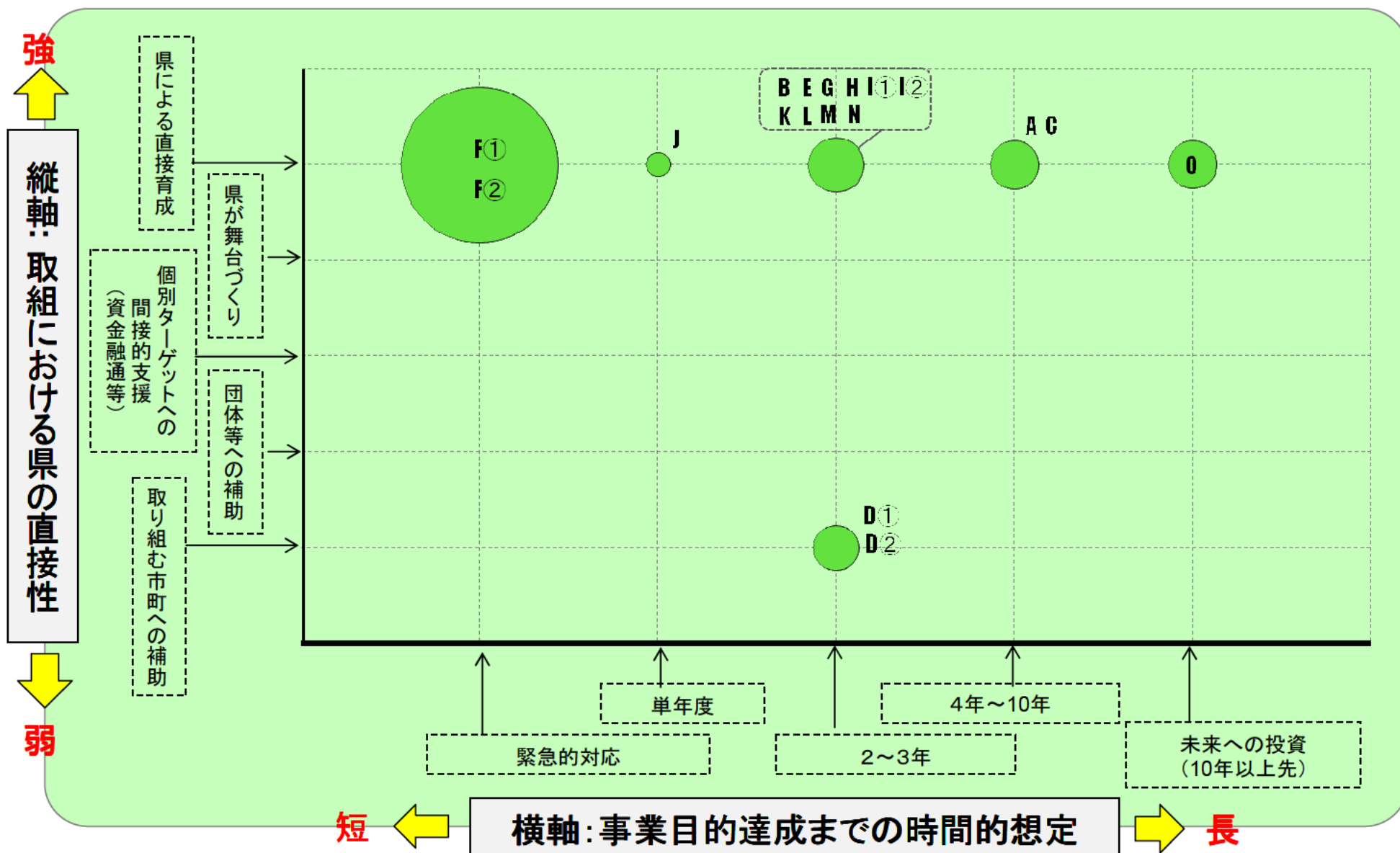
## (政策Ⅱ) 教育の充実[続き]

| 記号 | 事務事業名                | ターゲット<br>(誰を[に])          | 取組内容<br>(どうすることによって)   | 目的<br>(どうしたいか)   | 総事業費<br>(千円) |
|----|----------------------|---------------------------|--|--|--------------|
| F① | 語学指導等を行う外国青年招致事業費    | ①県立高校生                    | 「語学指導等を行う外国青年(ALT)」を招致することによって、  | ①国際理解及び英語の力、特に「聞く力」「話す力」を伸ばす。  | 237,298      |
| F② | 語学指導等を行う外国青年招致事業費    | ②県立高校英語教員                 | 「語学指導等を行う外国青年(ALT)」を招致することによって、  | ②英語運用力を高め、教員としての資質向上を図る。   | 237,298      |
| G  | 就業体験拡大充実緊急雇用創出事業費    | 県内公立中学生、県立高校生             | 就業体験受入事業所の開拓などを行う就業体験拡充支援員を雇用することによって、                                 | 就業体験の拡大・充実を図る。   | 5,092        |
| H  | 高校芸術文化祭費             | 県立高校生                     | 「みえ高文祭」を開催したり、「近畿高文祭」に県代表として参加する生徒の参加経費の支援を行うことによって、                   | 音楽、美術、演劇等の芸術文化について、技術と創造力を磨き芸術文化活動の向上を図るとともに、生徒相互の交流を深め、豊かな人間性を育成する。 | 11,077       |
| I① | キャリア教育実践プロジェクト事業費    | 県内公立小・中学校、県立高校の児童生徒       | ①就業体験などの場を作ることによって、  | ①地域が連携し、小中高の組織的・体系的なキャリア教育の推進を図るとともに、職業意識・進路意識の醸成を図る。                | 13,560       |
| I② | キャリア教育実践プロジェクト事業費    | 県内公立小・中学校、県立高校の児童生徒       | ②キャリア教育モデルプログラムを開発・普及することによって、   | ②社会的・職業的自立を支援する。   | 13,560       |
| J  | 教員免許ステップアップ事業費       | 県内幼稚園、小・中学校、高校及び特別支援学校の教員 | 上級免許状または通信教育で履修困難な教科、実務経験に乏しい教科等の免許状の取得に必要な単位を修得させるための講座を開設することによって、   | 教員の資質の向上を図る。   | 5,628        |
| K  | フューチャー・カリキュラム実践研究事業費 | 県内公立小・中学校児童生徒             | 学習指導要領の趣旨及び内容を踏まえ、思考力・判断力・表現力等を育む授業改善モデルを作成し、それが県内に普及する仕組みを構築することによって、 | 思考力・判断力・表現力等を育み、学力向上を図る。   | 4,408        |

## (政策Ⅱ) 教育の充実[続き]

| 記号 | 事務事業名                   | ターゲット<br>(誰を[に])                | 取組内容<br>(どうすることによって)  | 目的<br>(どうしたいか)  | 総事業費<br>(千円) |
|----|-------------------------|---------------------------------|---|---|--------------|
| L  | 教職員の授業力向上推進事業費          | 県内公立小・中学校及び県立学校の教職員             | 授業や学級づくりに対する教職員の専門性を高めることによって、  | 教職員の授業力の向上を図る。  | 14,526       |
| M  | 特別支援学校就労推進事業費           | 特別支援学校高等部生徒                     | 教育課程の改編を進めるとともに、外部人材を活用することによって、  | 進路希望(就労)の実現を図る。   | 18,169       |
| N  | 特別支援学校企業就労実現支援緊急雇用創出事業費 | 特別支援学校高等部生徒                     | 特別支援学校に職域開発支援員を配置することによって、  | 就労を促進する。  | 29,498       |
| O  | 学校防災推進事業費               | ・県内公立小・中学校及び県立高校の教員<br>・同 児童・生徒 | ・防災の専門家等が講師となって、学校防災リーダーを養成する研修会を開催することによって、<br>・防災の専門的能力をもつ嘱託員が体験型学習を支援したり、防災ノートを活用することによって、 | ・学校防災のリーダーが中核となって防災教育及び防災対策に取り組んでいることを目指す。<br>・災害時の児童生徒の安全対策の充実、学校、家庭、地域の連携を促進し、災害時の被害の軽減を図る。 | 22,402       |

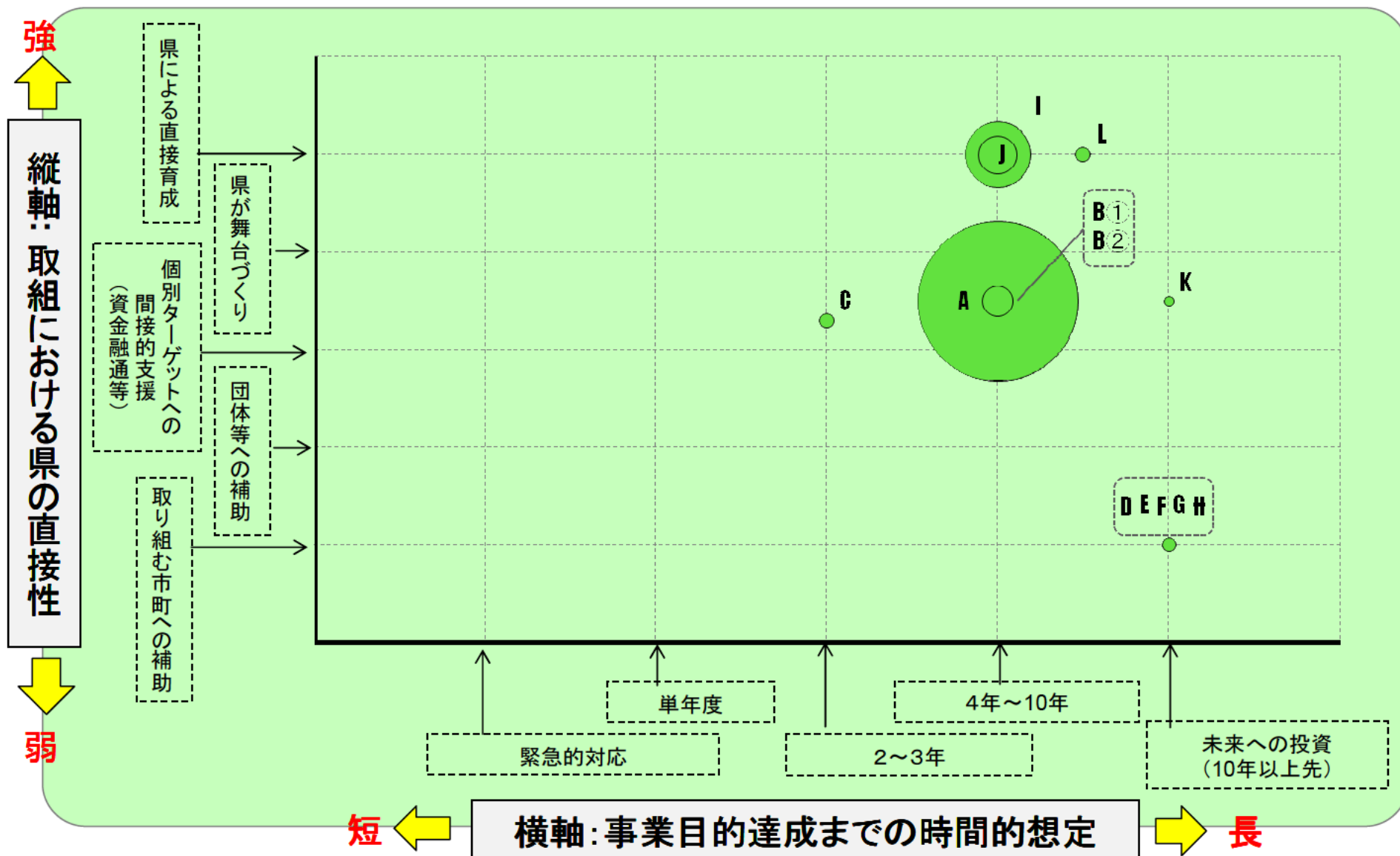
(政策Ⅱ) 教育の充実 事務事業の分布イメージ



| 記号 | 事務事業名                     | ターゲット<br>(誰を[に])      | 取組内容<br>(どうすることによって)  | 目的<br>(どうしたいか)   | 総事業費<br>(千円) |
|----|---------------------------|-----------------------|---|--|--------------|
| A  | 獣害につよい地域づくり<br>推進事業費      | 獣害対策に取り組む<br>地区・集落の住民 | 野生獣の生態に基づき、地域ぐるみでの<br>獣害対策に取り組む地区・集落を育成す<br>ることによって、  | 獣類による農作物の被害低減を図り、農<br>業者が安心して農作物を生産できる体制<br>及び地域づくりを総合的に進める。 | 759,136      |
| B① | 地域捕獲力強化促進事<br>業費          | 有害鳥獣の捕獲者              | ①捕獲技術の向上や捕獲体制整備を推<br>進することによって、   | ①地域における野生鳥獣の個体数調整を<br>進める。                                   | 27,863       |
| B② | 地域捕獲力強化促進事<br>業費          | 有害鳥獣の捕獲者              | ②地域における捕獲者の育成や有害鳥<br>獣の処理体制の構築を行うことによって、  | ②集落を単位とした被害地周辺の捕獲力<br>を強化する。                                 | 27,863       |
| C  | すこいやんか三重のいな<br>かビジネス展開事業費 | 農山漁村地域の住民             | 地域の豊かな資源を活用して魅力ある地<br>元産品やサービスを提供できる「いなかビ<br>ジネス」の取組を拡大するとともに、地域<br>の自立・発展が可能となるようなモデルビ<br>ジネスの取組を支援することによって、 | 地域での雇用の場の確保、高齢者や女性<br>の生きがいづくりなどを進める。                        | 5,721        |
| D  | 集落支援モデル課題解<br>決事業費        | 南部地域の集落の住<br>民        | 集落支援モデルの構築事業を実施するこ<br>とによって、  | 課題に対する地域住民の合意形成がなさ<br>れ、課題解決に向けた住民の主体的な取<br>組を支援する。          | 1,000        |
| E  | 子どもの地域学習推進事<br>業費         | 南部地域の子ども              | 複数の市町が連携して取り組む、地域へ<br>の愛着心を育む子どもの教育の取組を支<br>援することによって、  | 将来の南部地域を担う人材を育成する。   | 2,184        |
| F  | 人材育成推進事業費                 | 南部地域の住民               | ディスカッションリーダー育成講座を開催<br>することによって、  | 南部地域住民の主体的な取組を支える人<br>材を育成する。                                | 1,606        |

## (政策Ⅲ) 地域との連携[続き]

| 記号 | 事務事業名               | ターゲット<br>(誰を[に])                 | 取組内容<br>(どうすることによって)  | 目的<br>(どうしたいか)  | 総事業費<br>(千円) |
|----|---------------------|----------------------------------|---|---|--------------|
| G  | 第一次産業の担い手確保対策事業費    | 南部地域の第一次産業の担い手                   | 複数市町が連携して取り組む第一次産業の担い手確保対策を支援することによって、  | 南部地域における働く場の確保や定住を促進する。   | 1,950        |
| H  | 集落支援モデルの構築事業費       | 南部地域の集落の住民                       | 市町・大学と連携して、外部との交流等を通じた集落を維持するためのモデル的な取組を進めることによって、  | 集落再生モデルを構築する。   | 5,438        |
| I  | パートナーグループ活動支援事業費    | 地域をよりよくしていこうとする住民の皆さん            | プロデューサーの助言や専門家派遣、財政的支援、ネットワーク化の支援などを行うことによって、   | 特色ある地域資源を生かした自立・持続可能で元気な地域づくりをめざす取組である「美し国おこし・三重」を着実に推進する。      | 125,821      |
| J  | イベント手法展開事業費         | 地域をよりよくしていこうとする住民の皆さん            | 県民力拡大プロジェクトの取組を行うことによって、  | 地域づくり活動のさらなる磨き上げを行うとともに、県民の皆さんの一層の参加・参画を促進する。                   | 42,642       |
| K  | 三重のふるさと応援カンパニー推進事業費 | 農山漁村地域と協創する企業及び企業に勤める人、農山漁村地域の住民 | 企業及び企業に勤める人との協創活動を通じて農山漁村集落の維持、耕作放棄地の復元、農林漁業の振興、ビジネスサポート、災害復旧等の地域活動を支援できるような体制を構築することによって、  | ・農山漁村地域の集落を維持する。<br>・農産物の一層の付加価値化と、多様な主体により農山漁村を支えていく仕組みづくりを図る。 | 2,578        |
| L  | 子ども農山漁村ふるさと体験推進事業費  | 農山漁村地域の住民等                       | ・体験民宿の開業支援や体験指導者の育成をすることによって、<br>・モデル的な支援を行い、子ども達による農山漁村地域でのふるさと生活体験活動の受入体制整備を促進することによって、<br>・学校側への積極的なPRを行い、受入側、学校側双方の取組機運を醸成することによって、 | 子ども達による農山漁村地域でのふるさと生活体験活動を推進し、農山漁村の地域コミュニティ再生と地域活力増進を図る。        | 6,082        |



## (政策Ⅳ) 農林水産業

| 記号 | 事務事業名                    | ターゲット<br>(誰を[に])           | 取組内容<br>(どうすることによって)   | 目的<br>(どうしたいか)  | 総事業費<br>(千円) |
|----|--------------------------|----------------------------|--|---|--------------|
| A  | 地域活性化プラン推進事業費            | 農村地域の住民                    | 地域の農業者をはじめ、さまざまな関係者の創意工夫のもと、農地、景観、文化、人材など地域資源を有効活用する取組のスタートアップを促し、その実践を支援することによって、   | 地域の取組の発展や農産物の高付加価値化等の新たな価値創出につながる取組を進める集落や産地等を育成する。         | 14,625       |
| B  | 就農施設等資金貸付金               | 農業経営を始めようとする認定就農者          | 農業経営を開始しようとする認定就農者に対し、就農施設等資金の貸付を行うことによって、   | 青年等の新規就農を促進し、経営の定着を支援する。                                    | 191,823      |
| C  | 新規就農者総合支援事業費             | 就農希望者、新規就農者                | 国の新規就農・経営継承総合支援事業(青年就農給付金事業)を活用して、就農に向けた研修を行う就農希望者や就農5年目までの新規就農者に対して、青年就農給付金を給付することによって、   | 青年の就農意欲の喚起と就農の定着を図り、県内での青年の新規就農者数の拡大を図る。                    | 221,942      |
| D  | 農業版就職支援事業費               | 若年の就農希望者                   | サポートリーダー制度を構築することによって、   | 農業への就労、定着を促進する。   | 2,160        |
| E  | 農業版地域人材育成緊急雇用創出事業費(震災対応) | 東日本大震災の被災者や、未就職卒業者等の地域の失業者 | OJTやOff-JT等の研修により農業就業に必要な知識・技術の習得を図ることによって、  | ・農業分野に必要な人材を育成し就業に結びつける。<br>・新規就農者を確保することで地域農業の維持発展にも結びつける。 | 40,271       |
| F  | 農福連携・障がい者雇用推進事業費         | 農業に従事しようとする障がい者            | 障がい者が担える農業・農作業の検証をはじめ、農業者に対する意識啓発や支援体制の整備などの取組を実施するとともに、労働環境・作業内容の改善による障がい者雇用の創出や雇用から生まれる新たな価値創造などの研究・提案を行い、雇用創出型の福祉事業所及び農業経営体を育成することによって、 | 福祉事業所の農業参入や農作業受託、農業経営体への障がい者の就農を促進する。                       | 4,220        |

(政策Ⅳ) 農林水産業[続き]

| 記号 | 事務事業名                  | ターゲット<br>(誰を[に])                  | 取組内容<br>(どうすることによって)  | 目的<br>(どうしたいか)                            | 総事業費<br>(千円) |
|----|------------------------|-----------------------------------|---|---|--------------|
| G  | 三重のリーディング産品を支える人材育成事業費 | 農業者                               | 農業大学校において講義と演習を組み合わせた講座制の研修を実施することによって、   | 農業者のマーケティングスキルを向上させ、もうかる農業を実践できる農業者を育成する。 | 2,361        |
| H  | 集落営農組織企業化支援事業費         | 集落営農組織のメンバー                       | リーダーの高齢化による世代交代・経営継承や経営多角化・法人化に向けた課題のある集落営農組織について、現状及び目標の把握や、6次産業化など一段高いレベルの取組を推進するなどの支援を、(公財)三重県農林水産支援センターとの協働で行うことによって、   | 持続可能な農業経営体への発展と、「もうかる集落営農」の実現を図る。         | 45,197       |
| I  | 就農支援資金貸付金事業費           | 就農希望者、新規就農者、認定就農者                 | 県において新規就農の促進と就農計画の認定を行うとともに、<br>・認定就農者に対して就農に必要な農業の技術、経営方法を習得するための研修、その他就農の準備に必要な資金の無利子貸付<br>・県内に就農した者に対する貸付金の償還免除<br>を行う(公財)三重県農林水産支援センターに対して、事務費等及び償還金の補助を行うことによって、 | ・新規就農を促進する。<br>・県外からの新規就農を積極的に誘致、支援する。    | 15,160       |
| J  | 農業経営基盤強化促進事業費          | 認定農業者、法人化しようとする農業経営体、担い手組織、集落営農組織 | 認定農業者の育成、農業経営の法人化、担い手組織及び集落営農の組織化などの担い手育成対策を総合的に実施することによって、   | 意欲ある農業経営体が農業生産の相当部分を担うような農業構造を確立する。       | 42,308       |



## (政策Ⅳ) 農林水産業[続き]

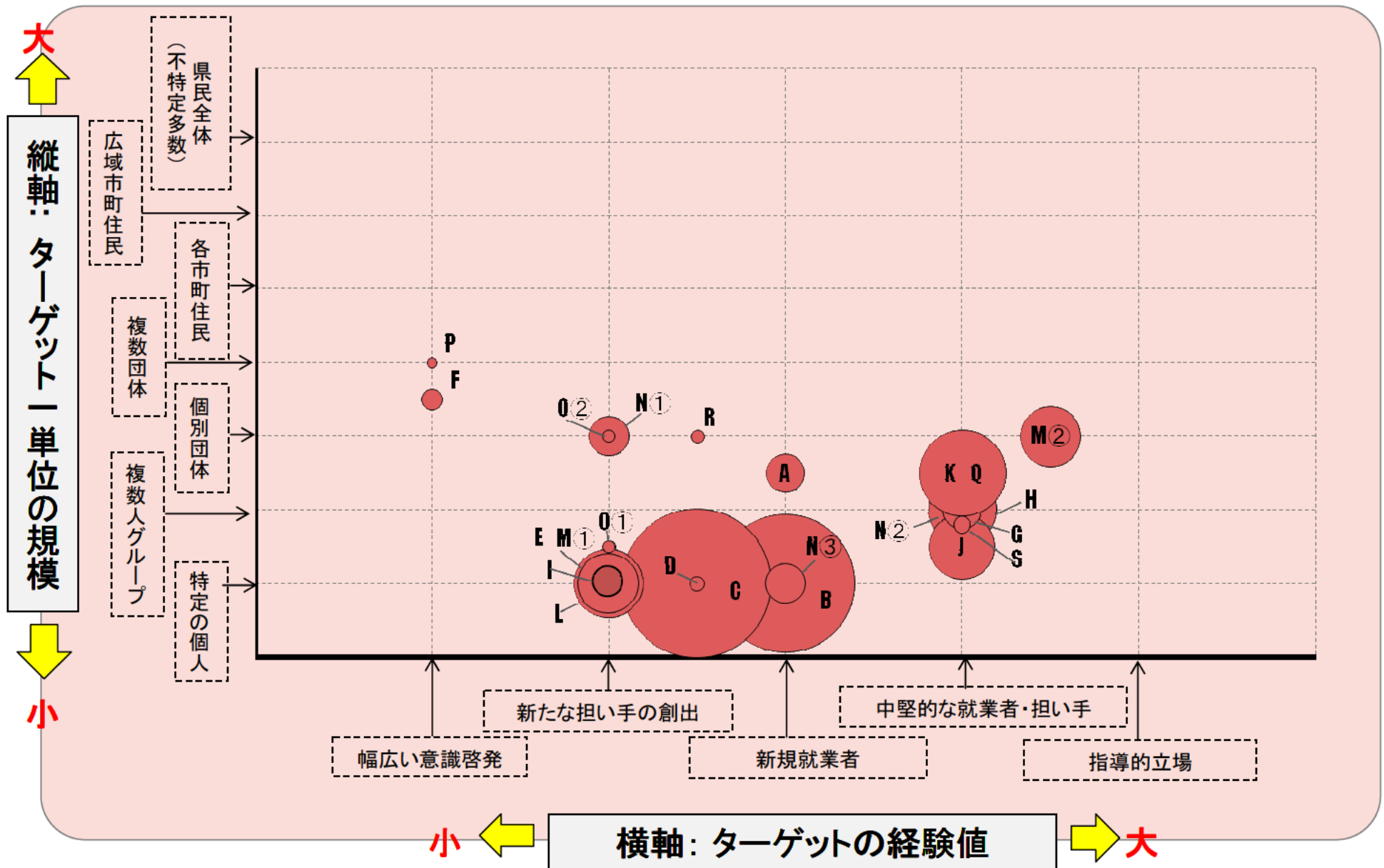
| 記号 | 事務事業名          | ターゲット<br>(誰を[に])        | 取組内容<br>(どうすることによって)  | 目的<br>(どうしたいか)                                    | 総事業費<br>(千円) |
|----|----------------|-------------------------|---|---|--------------|
| K  | 農業経営体育成普及事業費   | 農業経営体及び担い手              | 水田営農システムの構築、「もうかる農業」の実現につなげるための高度で先進的な技術導入、経営改善、マーケティング能力向上への支援など効率的な普及活動を実施することによって、 | 安全・安心な食料の安定供給を実践する経営体など担い手の確保・育成を図る。              | 48,247       |
| L  | 農業大学校運営事業費     | 農業大学校の学生                | 教育計画に基づき、一般教養、農業基礎、専攻の各講義並びに実習を実施し、知識や能力を付与することによって、                                  | 農業の後継者を育成する。                                      | 47,942       |
| M① | 新たな農業の担い手発掘事業費 | 新たな農業の担い手候補としての企業、新規就農者 | ①新たな農業の担い手として企業や新規就農者を積極的に位置づけ、受入体制の整備と参入を促進し、地域農業が持続的に展開される基礎的条件を整えることによって、          | ①農業者の高齢化に伴う深刻な担い手不足に対応し、新たな担い手を確保する。              | 36,080       |
| M② | 新たな農業の担い手発掘事業費 | 新たな農業の担い手候補としての企業、新規就農者 | ②若い新規就農者などの雇用を創出する雇用型農業の育成を促進するとともに、マーケットインの視点で地域資源を活かした特徴ある農業活動を行う農業者等を支援することによって、   | ②農業の成長産業化を図り、農業・農村における雇用を創出する。                    | 36,080       |
| N① | 林業担い手育成確保対策事業費 | ①林業への新規就業者候補となる青年       | ①高校生等への就業体験を行ったり、必要な知識の習得等を行う青年を支援することによって、   | 成熟しつつある森林資源を活用し、森林の整備を促進するため、林業の担い手となる新規就業者を確保する。 | 15,127       |

(政策Ⅳ) 農林水産業[続き]

| 記号 | 事務事業名                    | ターゲット<br>(誰を[に])         | 取組内容<br>(どうすることによって)   | 目的<br>(どうしたいか)  | 総事業費<br>(千円) |
|----|--------------------------|--------------------------|--|---|--------------|
| N② | 林業担い手育成確保対策事業費           | ②機械技術者等の林業就業者            | ②雇用の受け皿となる林業事業体を育成し、林業就業者の労働災害を防止するとともに、機械の操作等に習熟した技術者を育成することによって、 | 成熟しつつある森林資源を活用し、森林の整備を促進するため、林業の担い手となる技術者を確保する。                         | 15,127       |
| N③ | 林業担い手育成確保対策事業費           | ③異業種から林業への参入者            | ③建設業等の異業種から林業への参入を促進することによって、                                      | 成熟しつつある森林資源を活用し、森林の整備を促進するため、林業の担い手となる新規就業者を確保する。                       | 15,127       |
| O① | 林業就業促進資金貸付事業費            | ①新たに林業に就業しようとする者         | 林業への新規就業に必要な技術の習得や、就業の準備等に要する資金を無利子で貸し付けることによって、                   | 林業労働力の確保を図る。  | 1,500        |
| O② | 林業就業促進資金貸付事業費            | ②新たに林業労働者を雇い入れようとする認定事業主 | 林業への新規就業に必要な技術の習得や、就業の準備等に要する資金を無利子で貸し付けることによって、                   | 林業労働力の確保を図る。  | 1,500        |
| P  | 「元気な海女さん」による里海創生モデル構築事業費 | 海女、「里海」沿岸域の住民            | 海女漁業モデルを構築するとともに、所得向上に向けたビジネスモデルを構築することによって、                       | 将来にわたって沿岸域を支える役割を果たし、持続可能な漁業として海女漁業が展開するような、「“元気な海女さん”による里海創生モデル」を構築する。 | 1,000        |
| Q  | 漁業近代化資金融通事業費             | 漁業者                      | 利子補給措置等を講ずることによって、   | 設備・運転資金等の必要な資金の円滑な融通を図り、漁業者の経営改善に向けた取組を支援する。                            | 73,140       |

## (政策Ⅳ) 農林水産業[続き]

| 記号 | 事務事業名      | ターゲット<br>(誰を[に])       | 取組内容<br>(どうすることによって)                             | 目的<br>(どうしたいか)                 | 総事業費<br>(千円) |
|----|------------|------------------------|--|--------------------------------|--------------|
| R  | 漁業版就職支援事業費 | 漁業の新たな担い手<br>(漁村地域の若者) | 若者の流出により地域の存続が危ぶまれる漁村地域において、漁師の育成機関を拠点化することによって、 | 漁業の担い手を定着させる。                  | 1,538        |
| S  | 水産業改良普及事業費 | 漁業従事者                  | 漁業従事者に対し、水産業普及指導員による技術及び知識の普及を行うことによって、          | 沿岸漁業等の生産性の向上、経営の近代化及び技術の改良を図る。 | 2,874        |



## (政策Ⅴ) 強じんて多様な産業

| 記号 | 事務事業名                  | ターゲット<br>(誰を[に])       | 取組内容<br>(どうすることによって)  | 目的<br>(どうしたいか)                                 | 総事業費<br>(千円) |
|----|------------------------|------------------------|---|--|--------------|
| A① | 産業人材育成事業費              | 産業における技術者・研究開発人材、県立高校生 | ①産業界や教育機関と連携し、県や市が主催者となり、製造現場に必須である製造管理監督者向け講座等を開催することによって、                                 | ①高付加価値商品を開発する技術者、中小企業で求められている研究開発を担う中核人材を育成する。 | 15,451       |
| A② | 産業人材育成事業費              | 職業系学科の高校生              | ②高校在学時での技術・技能の質的向上への取組を推進し、ものづくりへの意欲を高めるほか、高校では学ぶ機会の少ない品質、環境、安全等の知識修得につなげることによって、           | ②地域産業の担い手となる技能者を育成する。                          | 15,451       |
| B  | 県内企業人材確保・定着支援緊急雇用創出事業費 | 県内で就職活動を行う学生及び県内企業     | 学生が社員と同様の業務を本気で体感できる長期インターンシップなどの実践的な就業体験プログラム構築や、企業の採用活動のスキルアップを図ることによって、                  | 企業と学生の相互理解による人材の確保と定着を推進する。                    | 6,883        |
| C  | 中小企業の課題解決支援事業費         | 県内中小企業及びその技術開発人材       | 技術支援、技術課題を解決するための共同研究、さらには必要な知識、機器操作等について基盤講座等を実施することによって、                                  | 県内中小企業における技術開発人材を育成する。                         | 30,347       |
| D① | ニュービジネス創出人材育成事業費       | ①若手経営者等                | ①三重大学地域戦略センターに委託して行う「MIE経営者育成道場(経営戦略や財務など経営ノウハウのベースと確固とした経営哲学を学ぶカリキュラムで構成された人材育成事業)」の受講を通じ、 | ①地域に雇用を生む力強い企業家を育成する。                          | 14,576       |
| D② | ニュービジネス創出人材育成事業費       | ②産業支援機関・団体等担当者         | ②「三重県IM養成研修(地域の事業化のプロデューサーの役割を担うIM[インキュベーション・マネージャー]を養成する)」の受講を通じ、                          | ②各機関や地域におけるニュービジネス創出の牽引人材を養成する。                | 14,576       |

